

－「変わらねば窮地脱出できない日本人」－

08/1/21~3/8.

<<最後の審判//危急対応マニュアル(1)：国民心理と政策選択>>

過去既成権力を背景にした者だけが大統領になれた米国、だが今回のオバマ氏は前代未聞、彼は庶民草の根運動で勝利邁進中、「自力で変革できる事を信じろ！」は我等にも大当たり！
本サイト初期からの基本主題は自力で考え、真実真理到達なれば大同団結の力獲得です。

日本人性格調査は決まって「甘えの構造」が主題、子供は与えられる者、与える者が親大人、明治維新も敗戦民主化も皆外来物、現日本危機はこの根深い構造に由来、日本人は今度こそ自力で変わらねば永久に奴隷、しかも滅亡への道だ！、日本(世界)人は現アフリカ等では旱魃洪水沿岸浸水-農業壊滅と疫病で民族絶滅が始まってる事を無視してる。

[0]：現代日本人の弱点：

①インターネット上に見る評価例から：

危機遭遇で国民がどう応答できるかは最大懸念事項。以下はweb siteでの日本人自身による日本人心理特性の筆者見解での粗い要約。否定見解が多いのには失望した。結論は弱点(恥)も堂々認知した上で長所をどう引き出すかに鍵がある。箱中は筆者記述。

(1) **甘えの構造(与える者=大人、与えられる者=子供)、利己主義被害妄想的、**

(2) <http://www.eva.hi-ho.ne.jp/nishikawasan/new3/amae.htm>

結局甘えの心理が社会生活の根本ルールにある。日本人の甘えを制度化したものこそ天皇制。土居健郎は丸山真男「日本の思想」から戦後日本社会構造を甘え概念から分析。

「事実かどうかを自己決断する前に、誰が頼りにできるか、皆がどう動くか」の心特性がこそが日本をただれた国にした。真理真実だけが本物を構築できると言う論理欠如！
甘え構造は期待が外れると即座に「恨み憎悪」に変わる。自己虫とは己利益だけで他人判断だから、甘えられない弱者強者には常に憎悪肥大だけが残る社会に変貌してしまう。近年日本社会情勢を見るとこの憎悪肥大傾向が一層社会を悪化させてるでないか！。

(3) **恥の文化、表と裏(建前と本音)、**

「誰が頼りにできるか、皆がどう動くか」だけが心中主題だから、他人意識過剰で外面をひたすら取り繕う事になる。この弱点を熟知、最大限利用してるのが現日本支配悪魔連中とも知らずに、一度都合悪い事に嵌ると徹底隠して最後大破綻、自力浄化ができない。

(4) <http://www.jungle.or.jp/tsujimu/shinsou%20.html>

欧米人は自己主張する事が美德、日本は出すぎない、集団でまとまると結構活動的で
回り迷惑考えない。一人になるとなると別人になったように極めておとなしい。

(5)「いつからこんなに職場の雰囲気が悪くなったんだろう? (「日本型うつ病社会」の構造、加藤諦三氏)」、連帯感情の喪失傾向です!!

1990バブル崩壊で経団連は地獄10年を味わう、その結果が安易な経費削減人事の成果主義と派遣雇用策、それは勤労大衆を非常に暗く不安憎悪社会に変貌させてしまった。

(6)成果主義で変貌した日本人=<http://www.president.co.jp/pre/20040112/006.html>

- (イ)短期的な成果だけを追い本質的な生産性の向上を見失う
- (ロ)職場の連帯感が失われる
- (ハ)部下や後輩の育成が軽視される
- (ニ)失敗を恐れ高い目標に挑戦しなくなる

(7)<http://www2.inter-pro.ne.jp/~ina/image/shinri.html>

「死にいくプロセス」の癌患者が否認・怒り・取引・うつ・受容の5段階を経る。

キリスト教では死は神の元へ召される事。従って死の受容へ到達しやすい。日本人では真の仏教徒は少なく、古来の死生観では死を忌み嫌うものとしてとらえます。

(8)日本人の自我は薄い?! =<http://www.st.rim.or.jp/~success/ijigaye.html>

人種的特徴ではなく昔から支配者に都合のよい従順で扱い易い人間に家畜化してきたせい。村社会、家康鎖国政策、明治天皇制、日本学校企業社会等が愚民化。

②対策は真実真理共有での他者融和信頼の社会再構築しかない!

- (1)現代世界日本は実はシステム大致命傷を抱えて大同団結無くば、生活未曾有危機回避不能の状況<エネルギー食糧生活必須物資高騰化とその将来危機増大>に進行しつつあるのに上記政治経済社会的テイタラクでは敵の思う壺である。その主因は誤解とダマシだ。
- (2)イスラム教徒が危機に強い一つ理由は神の下の平等を約束され、それに由来する信者団結である。イスラム教を「真実の核」として信者が心を共有できるからだ・
- (3)日本現実を診れば真実の核になる要素など無く、金と利権奪い合いの逆位相!.
- (4)だから**現実真実大局本質**を良く見極め、皆がそれを共有するならば自ずと結論は出る。
- (5)この時重大なのは**システム大局を最善化**せねば、構造歪は直らない大問題。
- (6)その原理は国民全部が等しく**生存生活できる保障**=「**食糧エネルギー&住宅**」が大基礎。**地球熱化危機進行**こそは正に之を標的にしてるのです!。生活水準保証でない。もはやこの問題に対して生活水準保証を求めると悪魔期待の資源争奪殺し合いが待ってます・
- (7)皆はNHKや既成マスコミ、既成学校教育に騙されては成らない。

[1] : マスコミ支配下で作られた現代日本人心理特性 :

戦後米対日C I A政策として経済優先利己主義推進、政治分裂させて支配せよが顕著進行。
マスコミ教育支配を通じて日本人弱点を徹底助長し、長所は徹底潰す陰謀政策。

①物質技術商業主義＝悪魔の誘惑浸透 :

- (1)最大関心事を経済に集中。 ⇨ 日本人の視野狭窄専門性向、過剰労働、
- (2)経済成果としての虚栄主義進行 ⇨ 貧富格差拡大と利己主義、犯罪多発、
- (3)物質快樂主義麻薬化。 ⇨ 貧困化<禁断症状>は利己主義者を悪魔化!!.

スーパーに行けば、豪華物資満タンが当然至極と皆が信じ切っている、
だが長期人類史上常識では全くの稀有な事、この豪華物資満タンの為に超犠牲になってる
山野河川大海洋の超反動こそが、地球熱化に伴う気候異変と生存資源危機の大進行、
だが皆が無視する事で奇妙に安心して超愚の影でせせら笑う悪魔!!!
「**現実**は小説を遥かに超えて奇なり!」、宗教は人類の悪魔誘惑での破滅を2000年前に既に
予言、確かに自分の土台足元根源を疑うなどは夢にも無い事だが、現世悪魔支配は真実が
本サイトの基本証明課題になっている。

②精神主義＝神宗教思想の後退 :

- (4)宗教倫理、寛容と慈愛連帯感情の衰退、
- (5)精神主義文化の後退 :
- (6)考える力の後退(見た目、外観容貌崇拜主義、漫画視覚映像(思考停止直結))、

③善処対策 :

- (7)「**悪魔正体と地獄への道を証し、神宗教への復帰を証明する!!**」。
- (8)完全科学の普及と理解簡易化の方法開発。
- (9)同志結集と団結化運動の世界化。
- (10)目先細事には神経質だが、本質大局では全くズボラを徹底改善意識する!

[2] : 心理的的技能面への具体的な善処対策 :

- (1)自己の短所、長所の診断自覚具現方法。
- (2)能力長所開発と**自信付与**。⇒甘えの構造から自信自立の構造へ。
「兎も角、何でも一つやり遂げてみるべし、さすれば、...」。
*問題が降ってきたら喜べ、**危機を好機に変えろ! 希望!!!!**。
*生活保障＝食糧、住居、電力エネルギー、
- (3)従来科学教育法の改良＝科学学問、芸術等の喜び。
- (4)宗教復興：人生死生観の確立。⇒甘えの構造から自信自立の構造へ。
- (5)「**人は共に生きるべし**」**連帯と人間信頼回復<悪魔誘惑からの解脱>**。

[3]：生活保障＝食糧、住居、電力エネルギー：

- (1)食糧自給策　　：緊急農民化民族大移動政策、休耕地再開発、
国土大緑化再生計画、資源沿岸再生計画、
- (2)対災害住居　　：地下室住宅化政策、0メートル地帯問題。
- (3)電力エネルギー：各種自立エネルギー開発、B波発電開発(筆者現業)。

結論：優先政策を上記3本に集中！

もはや金があっても物がなければ終わり！

日本列島最終改造論試案は下に。

[4]：これからの世界は金があっても駄目になる、最後は物が物を言う!!!:

地球熱化絶滅危機は実質的な第三次最終世界戦争になる！、世界民族興亡が賭かる！
無知な人にはまさかでしょうが言わば平和？な戦時体制への大転換政策です。

その目標は資源争奪戦争しない事が絶対！

- ①近時、世界経済は米国、日本等を震源として潰れる可能性が強い。
- ②既に国内の国内市場相手の中傷企業では年間1万件規模の大倒産時代、
苦境経営者は自殺を考える。他方で大もうけ企業も。
- ③もう暫くして再度失業時代になる。簡単に経済回復はないだろう。
田舎のある若人は農業をやって兎も角食える生活を考える。
- ④政府と農協、労組も相談の上で民族農民化大移動政策を構築する。
兎も角食糧なければ、滅亡！、今後は天候異変等で輸入食は難しくなる！
もはや小金を貯金しても無力になる、大インフレになるから。だから今こそ
最後の資源産業復興大投資の最後の金の使途になるだろう!!
年金ではもはや食えない時代になるかも、金でなく物のあの戦後窮乏時代に同じ。
- (1)既に農業従事者65才が平均年齢、問題なくても若返りが必須だった。
減反政策で潰れ係りの休耕田が多くあるらしい。暇村化の再開発。
- (2)国土の草原化と植林で兎も角、CO2吸収の国民大運動を起こす！
セメント、アスファルトを引き剥がす。だから土建道路はもう逆政策。
- (3)海岸漁場回復政策、海面上昇を計算に入れないと難しいが。
- (4)その他、皆様のアイデア次第！

⑤道路工事はもはや無用、これからは**地下室-地下居住区化政策**を考える。

温暖化危機は今後数世紀も通ずく (IPCC 報告)。温度変化に強い(年間平均 15 度で工夫次第で寝室居間に快適)、土地が安い、災害に強い(但し 0 メートル地帯と、河川近傍地区は逆に危ない！)。

⑥筆者も関与の無からの**電力創始技術 = B 波発電法**の緊急開発を図る。

誘電体単結晶物質(現状は高額、大量生産では安価化可能と見られる)

が形成加工できれば、即 kW 水準出力は可能。今の MW 出力大型には向かないのが欠陥だが、**燃料無用は決定的！** この一件に関しては筆者は責任を持てる。但し相応の機会提供あらばの条件は当然。

☞：多角化エネルギー技術も皆様のアイデア次第です。

⑦兎も角、危機到来前にやらねばならない国策仕事は山とある、だから失業はない？！

だから国民生活の最終保証は所得分配政策にかかる 日本列島最終改造論試案。

ドイツ人は年金 30 万にあると言う。、だが道路は日本の数分の一、橋の無いすら残ると言う。日本は 10 万に満たない年金でスッタモンダを抱えての醜態、一体どこが違うのか、我等の弱点を直視し、且つ自信を持てる自分に変心して下さい。

⑧**国際協調は過去になく重大になる。**

日本を国際モデル国にする。米国は大変貌する可能性が強い！、之に同期して真の日本自立と自信を回復する最後の機会と見られる。

後書き：

余り早く危機予言するとピーターと狼になりかねない。一般人からすればまさかも知れないが、自分は既に 30 年以上も前にある予言を相互に無関係な多数者(一名外国人)から教唆された。それは日本が行き着く先が食糧物がなくなる時代到来だ。過去 30 年と言えば基本的に経済成長で皆が過去日本史にない飽食に浸った時代、だが自分には上記予言がこびりつき、又普通人では決して知りえない特異人生裏街道からその予言が正しい事を読み取ったのは 20 年以上前のまともなサラリマン時代である(後にヤクザ世界の物理学に転進)。自分が最後に買った漫画は斉藤隆氏のゴルゴ 13(穀物戦争)、その前の輸出もやる電機会社の実験中のベンチで農業問題なんやらをぼやいたらしい、後に之が漏れて当時電機屋 100% の上司から宥められた記憶があるが、ついにその時代が来てしまったのです。